

第4回薬学教育調査・研究・評価委員会議事録

日 時 : 令和4年9月5日(月) 10:30~12:40
形 式 : ハイブリット会議(現地+Zoom)
場 所 : 日本薬学会長井記念館C会議室(ホスト会場)
出席者 : 別記1
配布資料 : 別記2

1. 薬学教育モデル・コア・カリキュラム「薬学教育モデル・コア・カリキュラム」大項目(素案)について(資料1-1~1-6)

資料に基づき、大項目及び中項目、小項目の修正点について各班長から説明された。特に、中項目と小項目では、<ねらい>、<学修目標>、<学修事項>について詳細な説明があった。

なお、議長より学習目標、学習事項の学習という言葉は、修めるの学修に統一することとしたため、今後修正すると報告された。また、<学修事項>の文末に【】を利用し、学修目標の番号を入れることにより、分かりやすい表示としたことについても併せて報告された。

「主な意見」

- ・多職種連携への参画・薬剤師の職能発揮の小項目で認定薬局の記載について意見があった。
- ・また、地域住民の疾病予防・健康維持・増進の推進、介護・福祉への貢献の小項目でセルフケア、セルフメディケーションの記載について、意見があった。

なお、議長より次回9月26日の本委員会ではより精査した内容を提示する予定である旨、報告があった。

2. 「薬学系人材養成の在り方検討会」(8/16開催)について(資料2.3.4)

文部科学省より、8月16日開催の第3回「薬学系人材養成の在り方に関する検討会」において、薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に関する主な意見について紹介があった。

次いで、「6年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ」がとりまとめられた旨の報告があった。

3. 「令和4年度薬学教育指導者のためのワークショップ」(8/26開催)について

文部科学省より8月26日に開催された「令和4年度薬学教育指導者のためのワークショップ」について、国公私立のすべての薬科大学長、薬学部長が参加し、薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に関する議論が行われた旨の報告があった。

4. 全国薬学被害者団体連絡協議会から文部科学省への要望書（資料5）

文部科学省より「全国薬学被害者団体連絡協議会」より薬害根絶デーである8月24日付で文部科学大臣宛に要望書があった旨の報告があった。

特に薬学関係事項では、薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に関して、薬害に関する記述についての意見等の紹介があった。

5. その他

次回、本委員会は第5回として9月26日（月）10：30～12：30を予定

別記1 第4回薬学教育調査・研究・評価委員会

構成委員	氏名(敬称略)	所属	出欠
専門研究委員会	本間 浩	薬学教育協議会 代表理事	会場
	平田 収正	和歌山県立医科大学薬学部 教授	会場
	小佐野 博史	帝京大学薬学部 名誉教授	会場
	鈴木 匡	名古屋市立大学薬学部 教授	Web
薬学教育協議会推薦	亀井 美和子	帝京平成大学薬学部 学部長	Web
	後藤 直正	京都薬科大学 前学長	会場
	大津 史子	名城大学薬学部 教授	Web
	伊東 明彦	帝京平成大学薬学部 教授	Web
教科担当教員会議 メンバー代表	高橋 秀依	東京理科大学薬学部 教授	Web
	小澤 孝一郎	広島大学薬学部 教授	Web
	角山 香織	大阪医科薬科大学薬学部 准教授	Web
	荒田 洋一郎	帝京大学薬学部 教授	Web
日本薬剤師会	長津 雅則	日本薬剤師会 常務理事	Web
	松浦 正佳	日本薬剤師会 理事	Web
日本病院薬剤師会	石井 伊都子	千葉大学医学部附属病院 薬剤部長	Web
	高田 龍平	東京大学医学部附属病院 薬剤部長	Web
オブザーバー	井上 圭三	帝京大学 副学長	Web
	小西 靖彦	静岡県立総合病院	Web
	河野 文昭	徳島大学大学院医歯薬学研究部	Web
		文部科学省高等教育局医学教育課	Web
		厚生労働省医薬・生活衛生局総務課	Web

別記2 配付資料

資料 1 : 薬学教育モデル・コア・カリキュラム 「薬学教育モデル・コア・カリキュラム」大項目（素案） 1-1「B 社会と薬学」、1-2「C 基礎薬学」、1-3「D 医療薬学」、1-4「E 衛生薬学」、1-5「F 臨床薬学」、1-6「G 薬学研究」

資料 2 : 「薬学系人材養成の在り方検討会」における意見について

資料 3 : 「6年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ」について

資料 4 : 6年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ（概要）

資料 5 : 全国薬害被害者団体連絡協議会から文部科学省への要望